

第 11 回総務経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 10 月 26 日（水曜）		10 時 45 分 開会	
	休 憩 11:10-11 11:37-38 12:00-12:01			
	12 時 3 分 閉会			
	休憩時間：0 時間 3 分		会議時間：1 時間 15 分	
会議場所	役場 3 階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長 鈴木 健充	委員 寺町 平一		
	副委員長 中田智恵子	委員 中村 和宏		
	委員 梶澤 幸治			
	委員 立川 美穂		議長 早苗 豊	
説明員	農業委員会事務局長	藤野 元成	環境土木課長	橋本 直樹
	同事務局次長	土田 雅敏	道路維持係長	本保 隆之
	農地振興係長	竹川 恭史	同主査	葛西 翔太
	総務課長	佐々木快治		
	総務係長	木村 亮太		
参考人				
欠席委員 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 佐藤 史彦		
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項 ア 農業委員会による情報収集等業務効率化支援事業について 資料 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局長：事業経緯説明。資料説明は係長からの旨を告げる。 ・係長：資料説明（事業目的、事業内容、事業実施に係る留意事項、経費使途、情報管理） ・委員長：意見・質疑はないか？ ・立川委員：機器導入後のメンテナンスや更新費用は国庫補助か？ ・事務局長：修繕は町負担となる想定である。更新費用は現時点で確定していない。 ・梶澤委員：通信料は町負担か？ ・農地振興係長：交付金での支出を見込んでいる。 ・梶澤委員：芽室町のデータは全国で共有されるシステムか？ ・事務局長：農業委員会情報について、全国を統括するしくみ（全国農業会議所）が平 				

成 26 年度からスタートし、情報の総合管理も一元管理となる。

- ・梶澤委員：複数の行政区に農地を所有しているケースもあることから、その管理にも有効と捉えて良いか？
- ・事務局長：自治体間連携で取り組んでいくシステムである。
- ・梶澤委員：地域計画の策定手順とは？
- ・事務局長：計画主体は市町村。農業地図は農業委員会。令和 6 年度末までに目標地図を策定する予定。
- ・梶澤委員：農業委員自身から新たな仕組み導入に際する戸惑いも耳にする。この機器操作方法等の取り組み予定は？
- ・事務局長：農地部会が中心になり、全委員が活用できるよう取り組んでいきたい。上部機関からの巡回支援も有効に活用する。
- ・寺町委員：町内の農地を所有する対象は町内外に存在すると思われる。この実態も把握するしくみとなるのか？
- ・事務局長：10 年後の目標地図の作成を目標にして、町外に居住する農地所有者とも協議しながら取り組んでいく。
- ・梶澤委員：農地と所有者が必ずしも同一自治体に存在するとは限らない。ゆえに自治体間連携が重要と捉えるが、この視点はいかがか？
- ・事務局長：ご指摘のように、自治体間連携を十分意識し取り組んでいく。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 地方公務員法の改正による職員の定年延長について 資料 2

- ・総務課長：事業概要説明。資料説明は担当係長からの旨を告げる。
- ・総務係長：資料説明（法改正の趣旨、内容、改正スケジュール等）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：この制度は十勝管内全自治体が同一か？
- ・総務課長：法改正に伴うことから全国一律適用となる。
- ・中村委員：定年退職の当事者にとって、将来設計は毎年変化が想定されるが、どの制度を自分に適用させるかの個々の意向調査は毎年継続的に行うものか？
- ・総務課長：お見込みの通りである。
- ・中村委員：年金支給額等関連情報は、今後、増加することが想定される。情報提供を総合的に鑑みて取り組んでいただきたいがいかがか？
- ・総務課長：ご指摘の件は、職員団体との交渉時にも意見交換している事項であり、十分留意していきたい。
- ・中村委員：高齢期職員が活躍できるよう、環境整備に丁寧に向き合うことを期待するがいかがか？
- ・総務課長：今後に向けての重要な課題として取り組んでいきたい。
- ・立川委員：定年延長に伴う人件費への影響を、現時点でどのように考えているか？

- ・総務課長：職員数については、「職員数適正化方針」に基づき取り進めていく。経費については、現時点で具体的な積算には限界がある。
- ・立川委員：定年延長が導入されることについて、新規採用職員と退職職員との関係による新陳代謝の考えはいかがか？
- ・総務課長：新規採用に係る対応に大きな変化や影響はないと考える。毎年、年齢構成や職種等を鑑みて、退職補充に努めていることから、この考えを踏襲しながら人員配置を行いたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する

ウ 令和4年度「芽室町除雪計画」について 資料3

- ・環境土木課長：趣旨説明。資料は係長から説明する旨を告げる。
- ・道路維持係長：資料説明（令和3年度対比変更及び改善事項、除雪期間、間口処理の試行、除雪路線等の説明）。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：間口除雪の試行について、件数と手法を伺いたい？
- ・道路維持係長：9件（ごみサポート登録世帯）が対象で、手法は小型機で対応したい。
- ・立川委員：9件の作業完了見込み時間は？
- ・道路維持係長：9件は市街地に点在しているので、一定時間は要する。
- ・立川委員：先進自治体の例を見ると、通常除雪時から配慮すべき住宅の間口の際に重機のスピードを緩めるなどの工夫を凝らしているケースもある。本町においても、この9件に配慮することは、技術的に可能か？
- ・道路維持係長：通常除雪時から間口除雪世帯のこと配慮はするものの、降雪状況は毎回画一ではないため、工夫はするものの限界はあると考える。
- ・梶澤委員：毎年、専決処分除雪事故の損害賠償が報告される。今年度の対応について、この課題に対する考えは？
- ・道路維持係長：除雪業務にあたり安全運転の順守は最重要事項。除雪開始前に警察等関係者からの講習を受講したり、これまでの事故状況について全職員で共有するなど毎年実施していることではあるが、今年度も重点的に継続的に取り組んでいく。
- ・梶澤委員：担当職員の意識徹底のほか、オペレーターの技術力や人員確保等の課題もある。安全確保について断言できるような思いはあるか？
- ・道路維持係長：最大限、安全作業に努めていきたい。
- ・梶澤委員：毎年、同じような場所での事故も散見されるので、よりいっそうの注意喚起と情報共有に努めていたただきたいが、いかがか？
- ・道路維持係長：御指摘を踏まえて、よりいっそう取り組んでいきたい。
- ・梶澤委員：スノーポールを設置は有効であるが、夏場は農作業に支障になる。撤去はしないのか？
- ・道路維持係長：スノーポールは隣接道路敷地内に設置し、隣接用地の農業者の方には

迷惑をかけない思いでいるが、毎年、撤去するとなると経費がかかるため、恒常的に設置しているものである。

- ・梶澤委員：簡易的なものであれば、地域と協力しながら対応できないものか？
- ・道路維持係長：御提案の件は対応できる可能性もあるため、別途協議するなど、柔軟に対応したい。
- ・中田委員：除雪に携わる職員数は満たされているのか？町の除雪担当者も日々ご苦労されていると思うが、毎年、地域住民からの苦言として、自宅の除雪が終わった後で除雪車両が重たい雪を置いていくとか、市街地中心と郊外など地域によつての除雪時間の不公平感を訴える声が絶えない。解決策はないのだろうか？
- ・道路維持係長：除雪重機に適した人員の確保はできている。また、地域住民からの苦情は実態として理解している。しかしながら、幹線道路やスクールバス路線を最優先し、その次に補助幹線等に作業を進めていくことが、ライフラインの確保という観点では必要不可欠で効率的な流れであることから、公平性よりも尊重しなければならない要素であることへの理解を得られるよう説明に努めていきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：調査事項「ウ」を終了する。

- ・委員長：自由討議について諮る。調査事項「ア」～「ウ」について意見はないか？
- ・梶澤委員：特になし。
- ・委員長：自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について
正副委員長一任

(2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
 - ・（なし）
 - ・委員長：事務局からないか？
 - ・（なし）
- 以上で総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	1名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年10月26日

総務経済常任委員会委員長 鈴木健充